



御同朋の社会をめざす運動

教化関係の取り組みについて

宗門重点プロジェクト

スローガン 『結ぶ絆から、広がるご縁へ』

実践目標

宗門重点プロジェクトの実践目標（宗派・教区・組共通目標）

＜貧困の克服に向けて＞～D a n a f o r W o r l d P e a c e～
– 子どもたちを育むために –

期 間 2020年度～2023年度

『結ぶ絆から、広がるご縁へ』

①兵庫教区重点プロジェクト

実践目標

宗門重点プロジェクトの実践目標（宗派・教区・組共通目標）

<貧困の克服に向けて>

～D a n a f o r W o r l d P e a c e～

– 子どもたちを育むために –

期 間

2 0 2 0 年 度 ~ 2 0 2 3 年 度

『結ぶ絆から、広がるご縁へ』

①兵庫教区重点プロジェクト

達成目標

社会変化に伴い核家族化が進み、弱者である子どもも、個・孤人化社会となり、その居場所が少なくなってきた。そんな子ども達の居場所をお寺が提供する。

『結ぶ絆から、広がるご縁へ』

①兵庫教区重点プロジェクト

2022年度 推進計画

- スローガン「おいで、おいで、お寺において！」
 - お寺で取り組む「子どもの居場所（スペース）」づくり
本堂、庫裡、会館等の部屋の提供（寺院施設の開放）
 - 子どもたちが一定時間過ごせる空間の提案と模索
 - 各組織の協力と実働
- ※コロナウイルス感染症拡大のため計画休止中

『結ぶ絆から、広がるご縁へ』

②兵庫教区重点プロジェクト

実践目標

コロナ禍で始める工夫した教化・伝道方法の構築

期 間

2022年度～2023年度

『結ぶ絆から、広がるご縁へ』

②兵庫教区重点プロジェクト

達成目標

新型コロナウイルス感染症の終息が見えてこない現状の中で、
教化・伝道が途切れることなく継続できるよう、コロナ禍での
法要・法座・研修会などのあり方を検討し構築する

『結ぶ絆から、広がるご縁へ』

②兵庫教区重点プロジェクト

2022年度 推進計画

1. コロナによって生活様式が変化した中での組行事・研修会などのあり方を検討し構築する。
2. オンラインによる組行事・研修会の開催方法を提示し奨励する
(ZOOMアカウント貸し出し等、実施にかかる支援)

『結ぶ絆から、広がるご縁へ』

②兵庫教区重点プロジェクト

これまでの取り組み

- (1)コロナ禍での法座および研修会開催のためのガイドライン
- (2)各組のオンライン拠点の設置、教化団体・組織の委員とのオンライン会議への対応推進
- (3)教区会、組長会、教化団体・組織等の会議を原則オンラインで開催
- (4)各種研修会・法要をオンラインで開催
- (5)YouTubeチャンネルの開設、法話・研修会・法要の配信
- (6)ブロック別公聴会の開催

『結ぶ絆から、広がるご縁へ』

②兵庫教区重点プロジェクト

【具体的な取り組み】

①YouTubeやZOOMの利用について、

これからはじめる方向けの体験研修会の開催

②連研委員会からはZOOMを使った研修会の

運営やホストの体験研修会の開催

『結ぶ絆から、広がるご縁へ』

③兵庫教区重点プロジェクト

実践目標

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年に向けて念佛者の学びの推進

期 間

2021年度～2023年度

『結ぶ絆から、広がるご縁へ』

③兵庫教区重点プロジェクト

達成目標

- ①親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年に向けて僧侶・門信徒が意義と課題の検討
- ②親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年の意義と課題

2022年度の取り組み

1. ハンセン病問題啓発現地研修について（ビハーラ兵庫共催）
教区研修講師・実践運動委員・組重点プロジェクトリーダー・
教化団体等への奨励
2. 映画「ドキュメンタリー沖縄戦」上映会開催（9/7）について
※ウクライナ支援募金について検討中

2022(令和4)年度 組重点プロジェクト推進助成金交付要項

1. 趣旨

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)推進の一環として、組における重点プロジェクトの推進に資するため、各組が策定した実践目標の達成に向け活動を実施した組に対して助成金を交付するもの

2022(令和4)年度 組重点プロジェクト推進助成金交付要項

- 
2. 活動内容（各組の重点プロジェクトに基づく取り組み）
 - ・各組で策定した実践目標の達成に向けた活動を企画、立案し、実施する
 - ・活動後、明らかになった課題や成果を確認し、次回以降の活動内容に反映する
 - ・各組での活動を原則とするが、2組・3組と合同で活動することもできる

2022(令和4)年度 組重点プロジェクト推進助成金交付要項

3. 対象期間

2023(令和5)年3月31日まで

4. 活動者

組内僧侶・寺族・門信徒や、これまで浄土真宗とご縁のなかった方

5. 助成金

1組あたり20,000円を交付する(1年度1回の交付)

但し、3組以上合同実施の場合は、60,000円を限度とする

2022(令和4)年度 組重点プロジェクト推進助成金交付要項

6. 事務手続（組における事務）

活動後に教務所へ実施報告書を提出する

（合同実施の場合にも各組より提出）

※報告書は、概ね、活動後1ヶ月以内の提出を目処とし、
2023年3月31日までに教務所へ提出する

組 重点プロジェクト実施報告書

参画寺院数	組内	力寺中	力寺	参 画 者 内 訳	門信徒	男性()名・女性()名	
実践目標					僧侶	男性()名・女性()名	
					寺族	男性()名・女性()名	
					その他	男性()名・女性()名	

活動内容

<実践目標達成に向けて取り組んだ内容を詳細にご記入ください。> ※参考資料があれば添付ください。

活動後の成果<「目標に対する達成状況」、「改善策」、「次回以降の計画」を順に記入ください。>

「目標に対する達成状況」

「改善策」

「次回以降の計画」

その他、特記事項等

上記の通り報告いたします。

組組長

印

「御同朋の社会をめざす運動」
(実践運動)人権啓発推進僧侶研修会
【僧侶・寺族部門】同朋講座 開催要項

研修課題(教区研修講師研修協議会で決定)

1. 過去帳又はこれに類する帳簿の取扱について

過去帳等の記録は個人情報であり身元調査に利用されないよう『「過去帳等取扱基準」及び新「差別事件糾明の方途」学習会用冊子』を用いた研修会を行う

今年度開催する
組同朋講座では
近畿同朋運動推進協議会
で作成された
リーフレット
「親鸞さまと歩む道」
活用していただきます。
必要部数を教務所まで
ご連絡ください。



「御同朋の社会をめざす運動」
(実践運動)人権啓発推進僧侶研修会
【僧侶・寺族部門】同朋講座開催要項

研修講師について

教区より派遣いたしますので、教務所まで開催日時、会場、研修課題をご連絡ください。

※宗派並びに同和教育振興会からの講師派遣など、専門性のある内容については、教務所までお問合せください。担当 山内

「御同朋の社会をめざす運動」
(実践運動)人権啓発推進僧侶研修会
【僧侶・寺族部門】同朋講座 開催要項

開催期間

2022年度内の開催とします。(できるだけ年内に開催ください)

開催場所

組内寺院・教務所・その他

開催方法

研修会の開催形式は、各組での開催を原則とします。

※2組、3組と合同で開催することも可能です。

全僧侶への周知案内に留意ください。

「御同朋の社会をめざす運動」
(実践運動)人権啓発推進僧侶研修会
【僧侶・寺族部門】同朋講座 開催要項

助成金

宗派5,000円・教区30,000円 合計35,000円

報告書

報告書の提出は、開催後1ヶ月以内、特に3月分は、開催後直ちに。

開催日より3ヶ月を超えて交付申請のあった場合は、交付されません。

2組以上の開催でも各組報告書を提出。

(様式③)

()組「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」人権啓発推進僧侶研修会報告書

組名	組(ヶ寺)	会場	
開催期日	月 日(曜日)	参加寺院数	ヶ寺
開催時間	時間 分(: ~ :)		
研修課題	<input type="checkbox"/> ①過去帳又はこれに類する帳簿の取扱について	参加者内訳 僧侶()名	男性()名
	<input type="checkbox"/> ②み教えと差別の現実について		女性()名
	<input type="checkbox"/> ③教区又は組が独自に設定する人権・差別問題について		住職()名
研修講題			衆徒()名
講師(役職)	()		その他()名
研修形式	<input type="checkbox"/> 講義(問題提起)と班別話し合い法座・まとめ	<input type="checkbox"/> 講義と全体話し合い(質疑応答含む)	
	<input type="checkbox"/> その他()		
研修内容について、事前打合せをしましたか?		<input type="checkbox"/> 打合せをした	<input type="checkbox"/> 特にしていない

※□欄にチェックしてください。

研修日程			
時間	日程	時間	日程
:		:	
:		:	
:		:	
:		:	

資料教材 ※使用された資料教材があればご記入ください。(教区や組独自で作成したものを含む)

◆開催後3ヶ月を超えて社会部へ交付申請のあった場合は、助成金が交付されませんので、予め、ご了承ください。

◆教区より社会部へ交付申請する手続きの関係上、できる限り1か月以内に教区へご提出ください。

◆研修内容把握のため、提供できる資料教材があれば、添付してください。

(裏面へ)

「御同朋の社会をめざす運動推進」

【一般部門】同 朋 講 座 開 催 要 項

目的.

門信徒一人ひとりが、自らが差別の現実に向き合い差別をなくしていく取り組みに参画し御同朋の社会をめざすこととする。

「御同朋の社会をめざす運動推進」

【一般部門】同朋講座 開催要項

課題. 『差別の現実に学ぶ』

- (1)部落差別(部落差別解消推進法等)
- (2)民族差別(ヘイトスピーチ解消法等)
- (3)障害者差別(障害者差別解消法等)
- (4)感染症・ハンセン病差別(ハンセン病問題基本法等)
- (5)性の多様性と人権
- (6)災害と人権
- (7)非戦・平和

今年度開催する
組同朋講座では
近畿同朋運動推進協議会
で作成された
リーフレット
「親鸞さまと歩む道」
活用していただきます。
必要部数を教務所まで
ご連絡ください。



「御同朋の社会をめざす運動推進」

【一般部門】同朋講座 開催要項

研修講師について

教区より派遣いたしますので、教務所まで開催日時、会場、研修課題をご連絡ください。

※宗派並びに同和教育振興会からの講師派遣など、専門性のある内容については、教務所までお問合せください。 担当 山内

「御同朋の社会をめざす運動推進」

【一般部門】同朋講座 開催要項

開催期間

2022年度内の開催とします。

開催場所

組内寺院・教務所・その他

対象

門徒総代、仏婦・仏壯・門推などの教化団体会員、門信徒等を
対象とする

「御同朋の社会をめざす運動推進」

【一般部門】同朋講座 開催要項

助成金

教区30,000円

報告書

報告書の提出は、開催後1ヶ月以内、特に3月分は、
開催後直ちに。

2組以上の開催でも各組報告書を提出。

《様式③》

()組「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」推進研修会 報告書

【実践目標: 御同朋の社会の実現 一般部門 同朋講座】

組名	組(ケ寺)	会場	
開催期日	月 日 (曜日)	参加寺院数	ヶ寺
開催時間	時間 分(: ~ :)	参加者内訳	男性()名、女性()名
研修テーマ			門信徒()名 [参加者名簿を添付してください【別紙添付】]
講師(役職)	()	僧侶()名	男性()名、女性()名
案内方法	<input type="checkbox"/> 門信徒個人宛 <input type="checkbox"/> 寺院宛 <input type="checkbox"/> その他()		
研修形式	<input type="checkbox"/> 講義(問題提起)と班別話し合い法座・まとめ <input type="checkbox"/> 講義と全体話し合い(質疑応答含む) <input type="checkbox"/> その他()		
「一般部門同朋講座」について、研修会にて組主催者(組長、副組長、教区委員会委員等)で趣旨確認をしましたか?		<input type="checkbox"/> 趣旨確認をした	<input type="checkbox"/> 特にしていない
研修内容について組主催者で事前打合せをしましたか?		<input type="checkbox"/> 打合せをした	<input type="checkbox"/> 特にしていない
※□欄にチェックしてください。			
研修日程			
時間	日程	時間	日程
:		:	
:		:	
:		:	
:		:	
資料教材 ※使用された資料教材があれば記入するか□欄にチェックしてください。			
◆一部提供できる資料教材があれば、添付してください。			
(裏面へ)			

《様式④》

兵庫教区『御同朋の社会をめざす運動推進〔僧侶・寺族部門／一般部門〕同朋講座』

事前開催報告書【FAX送信用】

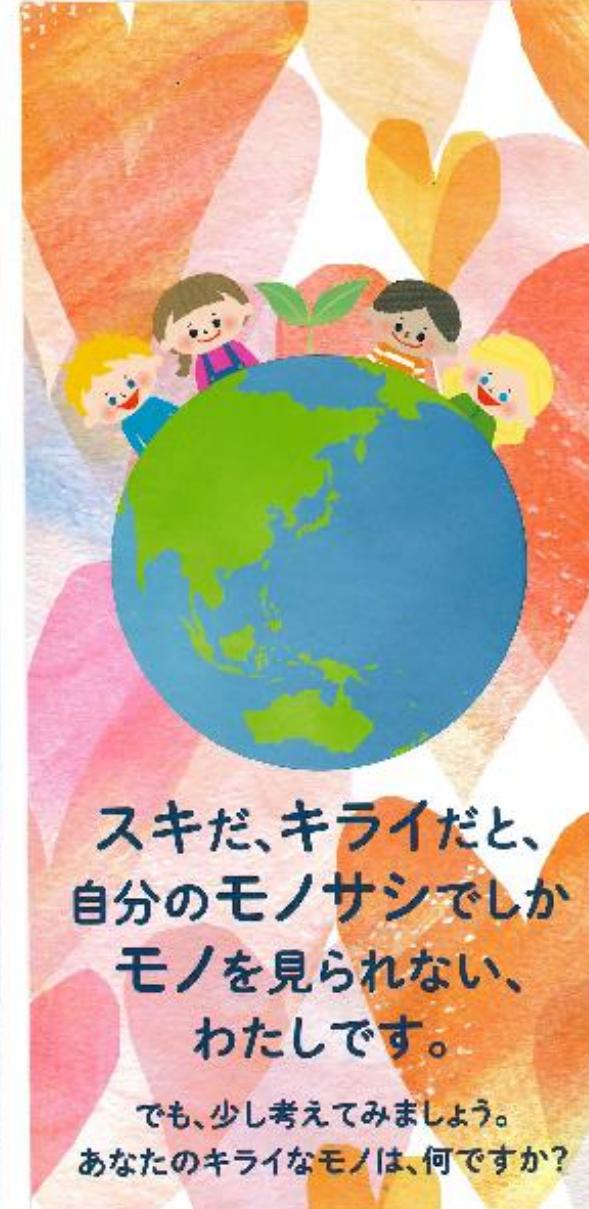
組名	組(ヶ寺)	会場	
開催期日	月 日(曜日)	資料請求部数	部
開催時間	時間 分(: ~ :)		
研修テーマ		講師	教区より派遣
研修形式	<input type="checkbox"/> 講義(問題提起)と班別話し合い法座・まとめ <input type="checkbox"/> 講義と全体話し合い(質疑応答含む) <input type="checkbox"/> その他()		
※□欄にチェックしてください。			
資料教材(使用される教材があればお知らせください。)			
備考欄			
上記の通り報告いたします。 _____ 組長			



ハンセン病問題 を考える

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)

兵庫教区委員会



スキだ、キレイだと、
自分のモノサシでしか
モノを見られない、
わたしです。

でも、少し考えてみましょう。
あなたのキレイなモノは、何ですか？

連研開催報告書

助成金

宗派 20,000円 1期2年間

教区200,000円 1期2年間(一年ごと100,000円)

報告書

2年間12回を原則(36時間以上)計画・報告書の提出

連研実施内容報告書

教 区	組 名	寺号・ブロック名	期 数	
回数	開催日	会 場	テ ー マ (内容)	講 師 名
1	月 日 ()			
2	月 日 ()			
3	月 日 ()			
4	月 日 ()			
5	月 日 ()			
6	月 日 ()			
7	月 日 ()			
8	月 日 ()			
9	月 日 ()			
10	月 日 ()			
11	月 日 ()			
12	月 日 ()			
	月 日 ()			
備考				

連研開催報告書

教 区	組 名	寺号(寺院連研)・ブロック	期 数	
			期	
種 別	1. 組連研(参加寺院 ケ寺) 2. 寺院連研(寺)			
開催期日	年	月	日から 年 月 日	
1. 会 場 ①持ち回り (ケ寺) ②固定 2. 講 師 ①組内講師 (名) ②教区内講師 (名) ③教区外講師 (名) ④その他 (名) 3. 開催方法 ①開催回数 (回) ②開催時間 (1回につき約 時間・合計 時間) 4. マツフ会議 ①事前会議 あり (各回毎・その他[])・なし ②反省会 あり (各回毎・その他[])・なし 5. 使用教材 ①連研ノート (A ・ B ・ C ・ D ・ E) ②組・教区作成資料 () ③そ の 他 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">[]</div> 6. 参 加 者 ①初回参加者数 (男性 名 ・ 女性 名 合計 名) ②修了者数 (男性 名 ・ 女性 名 合計 名) ③修了者年齢 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px; margin-bottom: 10px;"> ~19歳 名 ・ 20代 名 30代 名 ・ 40代 名 50代 名 ・ 60歳~ 名 </div> ④参加者層 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px; margin-bottom: 10px;"> ①はじめての人が中心 ・ ②聞法を重ねた人が中心 ③寺院役員(役員・総代等) ・ ④仏教青年会員 ⑤仏教婦人会員 ・ ⑥仏教青年会員 ・ ⑦その他 </div>				
	以上、連続研修会を開催いたしましたのでご報告いたします。			
	年	月	日	組 連研担当者 印
	年	月	日	組 組長 印
	年	月	日	教区 教務所長 印

____年____月____日

兵庫教区教務所長
松本 隆英 様

_____組 組長 _____印

連研担当者 _____

_____年度組連研助成金交付申請

標記について、下記の通り申請いたします。

記

1、助成金申請金額 金100,000円也

2、実施報告〔_____年度〕

回数	開催期日	テー マ (内 容)
第一回	月 日 時～ 時	
第二回	月 日 時～ 時	
第三回	月 日 時～ 時	
第四回	月 日 時～ 時	
第五回	月 日 時～ 時	
第六回	月 日 時～ 時	
第七回	月 日 時～ 時	
受講者・修了者人数		受講者(　　名) 修了者(　　名)

以 上

組における子ども・若者ご縁づくり キッズサンガ 開催要項

1. 目的

ご縁のある大人が、すべての子ども・若者と接点を持ち、共に阿弥陀さまのご縁に遇い、全世代が「お寺を居場所」とするために、手を合わせお念佛よろこぶ人生を歩むための取り組みとして、「子ども・若者ご縁づくり(キッズサンガ)」を各組において積極的に推進することを目的とする。

組における子ども・若者ご縁づくり キッズサンガ 開催要項

- 
2. スローガン 『手を合わせ お念佛よろこぶ 人生を！』
 3. 内 容 阿弥陀さまとのご縁づくりができる内容とする。
 4. 名 称 「〇〇組子ども・若者ご縁づくり」または
「〇〇組キッズサンガ」の語句を入れた名称にする。

組における子ども・若者ご縁づくり キッズサンガ 開催要項

5. 主 催

組を中心として実施されるように努め、組長・組サポーターや教化団体と連携して開催されることが望ましい。

6. 参加対象

組内及び地域の子ども・若者・大人

組における子ども・若者ご縁づくり キッズサンガ 開催要項

7. 報告書

開催後、1ヶ月以内に組長を通して報告書を提出する。

8. 開催助成金

報告書に基づき1ヶ年度につき30,000円を助成する。

組子ども・若者ご縁づくり(キッズサンガ)開催報告書

参加寺院数	ヶ寺	参加者内訳	子ども	名
開催期日	月 日() 時 から		大人	名
	月 日() 時まで		スタッフ	名
会 場			合 計	名
行事名称	サブテーマ			

開催内容・日程 (案内チラシやパンフレット、写真があれば添付してください。)

開催後の所感	参加者の様子
<組長所感>	

上記の通り報告いたします。

年 月 日

組組長

印

※開催後、一ヶ月以内に教務所までご提出ください。

組門徒総代会研修会報告書

報告書

開催後、1ヶ月以内に組長を通して報告書を提出する。

開催助成金

報告書に基づき1ヶ年度につき10,000円を助成する。

《

》組門徒総代会研修会報告書

標記の件、下記の通り研修会を開催いたしましたので、報告並びに助成金申請いたします。

年　月　日 _____ 組　組長 _____ 印 _____

_____ 総代表 _____ 印 _____

研修会名	期　日	年　月　日()
会　場	参加者数	総代　　名、住職・他　　名
講　師	資　料	別　紙　添　付
講義内容		
問題点 課　題		
所　感		

※開催1ヶ月以内に教務所宛ご報告ください

兵庫教区「組布教大会」開催要項

1. 趣 旨

浄土真宗のみ教えを実践運動をふまえて、組内の門信徒にひろく宣布するため、組主催の布教大会を開催する。

2. 大会名 ○○○組布教大会

3. 主 催 兵庫教区各組

4. 会 所 組内寺院（または、礼拝設備のある施設）

兵庫教区「組布教大会」開催要項

5. 出講者

組で選定された布教使

※出講者の内1名は兵庫教区布教団員を含む

6. 報告書

開催1ヶ月以内に、教区布教団事務局にて
開催報告書を提出する。

7. 助成金

開催報告書提出に基づき、教区布教団から
1組につき、2万円を交付する。
(年度1回限り)

年 月 日

兵庫教区布教団長殿

組組長

印

組 布 教 大 会 報 告 書

下記の通り、報告いたします。

記

開催期日		会 所	
出講者名			
参拝者数	名	組内僧侶	
男性()名、女性()名	出席者		
日 程			
経 費			
組長意見			

※開催後1ヶ月以内に教務所宛てご報告ください

2022(令和4)年度 「組青年布教使布教大会」開催要項

- 
1. 趣 旨 浄土真宗のみ教えをひろく宣布し、次代を担う人材の育成に資するため、教区内各組において青年布教使(45歳未満・布教使任用5年未満)を中心とした布教大会を開催する。
 2. 大会名 ○○○組青年布教使布教大会
 3. 主 催 開催組ならびに教区布教団
 4. 会 所 組内寺院(または、礼拝設備のある施設)

2022(令和4)年度 「組青年布教使布教大会」開催要項

5. 出講者 教区布教団より派遣の青年布教使
(45歳未満・任用5年未満)2名と引率布教使1名。
6. 基本日程
- | | |
|-------------|-------------------|
| 13:00～13:20 | 開会式(勤行、組長挨拶) |
| 13:20～14:00 | 布教1(青年布教使 40分) |
| 14:00～14:10 | 休憩(10分) |
| 14:10～14:50 | 布教2(青年布教使 40分) |
| 14:50～15:00 | 休憩(10分) |
| 15:00～15:40 | 布教3(引率布教使 40分) |
| 15:40～16:00 | 閉会式(組担当者挨拶、恩徳讃齊唱) |

2022(令和4)年度 「組青年布教使布教大会」開催要項

7. 開催回数

1組につき年度1回までの開催とします。

8. 開催期間

2022年6月1日～2023年2月末日

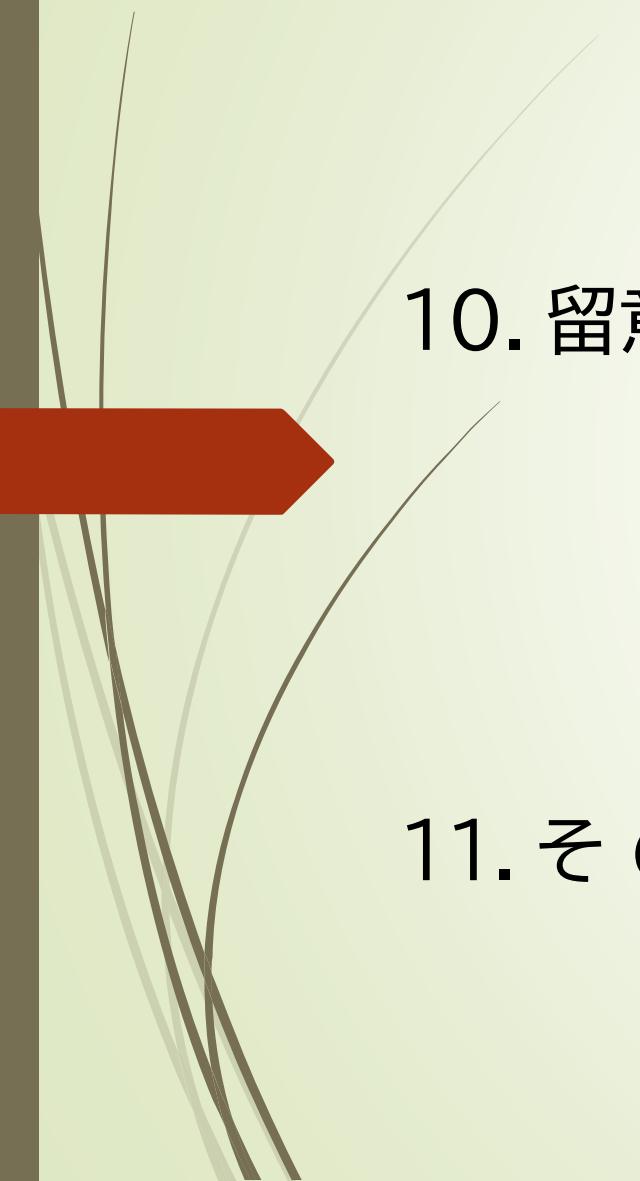
※出講依頼の関係上、必ず開催2ヶ月以上前に
申込ください。

※期間内に開催ください。

9. 申込方法

所定の「開催申込書」にて組長を通じ教務所までお申
し込みください。

2022(令和4)年度 「組青年布教使布教大会」開催要項

- 
- 10. 留意事項** 大会の運営(調声・司会進行など)は組担当者にて行ってください。別院法要期間・彼岸期間・盆期間・年末年始の開催はご遠慮ください。事務局出向並びに出講者依頼の関係上、開催日の調整をお願いする場合があります。
 - 11. その他** 出講者への御礼は布教団にて負担いたします。大会当日、組へ1万円の助成金をお渡し致します。

年 月 日

兵庫教区布教団長殿

(組長) 組

組青年布教使布教大会開催申込について（申請）

今般、標記大会について下記の通り開催の申込をいたします。

記

開催希望日	年 月 日 () 時 分～ 時 分
会 場	会 場 名
	住 所
	電話番号
担当者連絡先	担当者氏名
	住 所
	電話番号
日 程	
備 考	教務所收状印

※開催2か月前までに兵庫教区教務所宛てお申込みください。

以 上

子どもたちの笑顔のために募金

【第1次】(2018.8~2020.1.31)

1. 募金総計￥21,108,941. - (2020.1/31 集計)

748,040. - (兵庫教区 3.5%)

2. 募金件数873件 (58件 兵庫教区)

3. 募金内訳

(1)寺院530件(60.8%)

(2)個人94件(10.8%)

(3)教化団体・その他団体78件(8.9%)

(4)別院・教務所・出張所等75件(8.6%)

(5)組34件(3.9%)

(6)その他62件(7.0%)

子どもたちの笑顔のために募金

【第2次】(2020.2.1～2021.1.31)

1. 募金総計￥22,045,972.-(2021.1/31 集計)

768,117.-(兵庫教区 3.5%)

2. 募金件数870件(45件 兵庫教区)

3. 募金内訳

(1)寺院456件(52.4%)

(2)個人177件(20.3%)

(3)別院・教務所・出張所等31件(15.1%)

(4)組32件(3.7%)

(5)教化団体・その他団体30件(3.4%)

(6)その他62件(5.1%)

子どもたちの笑顔のために募金

【第3次「子どもたちの笑顔のために募金】

1. 募金額集計21,121,529.- (2022.1.31集計)

942,338.- (兵庫教区4.5%)

2. 募金件数933件(44件 兵庫教区)

【内訳】寺院32件、個人1件、組6件、教化団体4件、教務所・別院等1件)

子どもたちの笑顔のために募金

【第4次「子どもたちの笑顔のために募金」】

1. 募金額11,473,350円（募金件数453件）

（2022年2月～2022年7月15日現在）

2. 兵庫教区募金集計 572,700円（募金件数33件）

【内訳】寺院19件、個人5件、組3件、教化団体4件、
教務所・別院2件）

子どもたちの笑顔のために募金

【これまでの支援状況】

- (1) Dāna for World Peace ! - 世界の子どもたちの笑顔を応援します
 - ①浄土真宗の有志で国際的に活動する団体から申請に基づく支援として、130万円(13団体)助成金交付。
 - ②カトマンズ本願寺と連携したネパールの子どもへの支援として、カトマンズ本願寺が支援するセティデビ中学校の食堂・外壁等の建設、及びPC環境の整備に550万円交付。
 - ③その他、必要に応じた海外への支援として、ウクライナの子どもたちのため、ユニセフへ1,000万円の支援金交付。

子どもたちの笑顔のために募金

(2)子どもたちの居場所づくりを応援します

①子ども食堂・学習支援等の活動を行なっている寺院・団体等からの申請に基づく支援として、533万円(78団体)助成金交付（第2次支援まで）

(3)施設で暮らす子どもたちの笑顔を応援します

①浄土真宗本願寺派全国児童養護施設連絡協議会の加盟14施設に入所する在園生・卒園生への支援として、2,037万円(1,749名)支援金交付

(第3次支援合計額)。

第3次支援では、590人(内、卒園者40人)へ支援金送金

支援金：670万円（在園者1万円×590人・卒園者2万円×40人）

②母子生活支援施設本願寺ウィスタリアガーデンに入所する子どもの支援として、41万円(41名)の支援金交付。

子どもたちの笑顔のために募金

※現在、子どもの居場所作りのための助成金の申請については、受付を締め切っており（申請受付期間2022年4月1日～6月1日）、募金管理委員会にて助成先の審査・決定を行ったうえで、助成をいたします。

また、カトマンズ本願寺と連携したネパールの子どもたちへの支援として、カトマンズ本願寺が支援する「カリカサラン中学校」の水道設備・食堂・金網塀・校門の建設にかかる支援のため、予算650万円の内、カトマンズ本願寺よりの申請に基づき4,067,894円（※見積額3,864,500ネパールルピーを1円=0.95ネパールルピーで算出）を1回目送金分として支援しております。

子どもたちの笑顔のために募金

子どもたちの笑顔のために募金」さらなる奨励

- 
- ①一般寺院における積極的な募金活動を奨励するとともに、教務所長・組長・組重点プロジェクトリーダーの協力を得て、集められた募金を確実に受け取れる体制を整える。
 - ②より多くの人々に募金の協力をしていただくために、キャッシュレス決済を導入し募金の利便性を図る。